

Digital map for Factory Innovation Week

未来の工場を実現する空間DX技術 ～ Wi-Fi Indoor Map Technology ～



位置情報サービスの適用事例



在庫・物品・貨物等の位置・在庫管理



作業員の所在把握と共有



外来者の位置・保安管理



フォークリフト稼働改善施策の効果定量化



特徴①



特徴②



特徴③



屋内外での位置をデータ化

Wi-Fi測位とGPS測位をシームレスに切替え、屋内外の位置をデータ化。

短期間でスピード導入

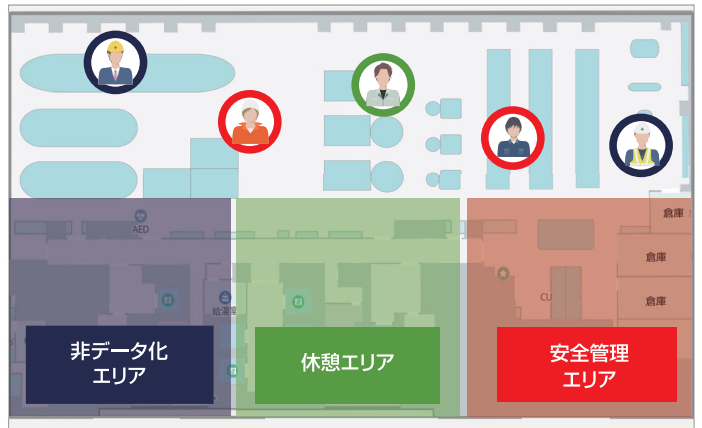
短期間で屋内空間のデジタル化が可能。既存のWi-Fi環境があれば追加設備は不要、スピーディに空間DXを構築。

SDKで簡単システム連携

自社アプリ、システムとSDKによって簡単に連携可能。デジタルマップや測位機能連携を容易に実現。

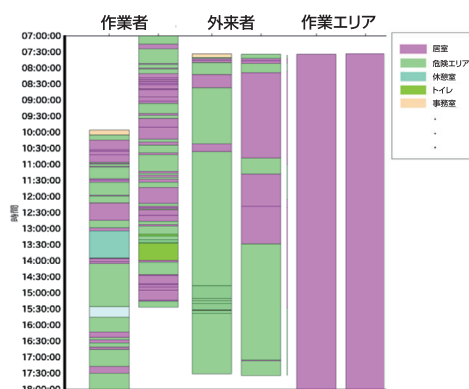
位置データを分析することでより効率化

特定のWi-Fi アクセスポイントに接続しなくても、リアルタイムでヒトの位置の見える化が可能です。例えば危険なエリアや立ち入り禁止エリア、特殊な作業エリアなどを指定して、「に入った/出た」「滞在時間」の管理をすることも可能です。



ヒト/モノ/設備の動きの見える化

① ヒト/モノの場所とタイムラインの見える化例



※ 実際の施設での実例

作業員、機器、フォークリフト等の位置情報を可視化することで作業状況、機器やフォークリフトの利用状況の分析が可能です。

② ヒト・フォークリフトのヒートマップ化例



※ある施設での実例をもとにしたイメージ図

フォークリフトの動きをヒートマップで可視化することにより、作業員やフォークリフトの行動/稼働傾向/滞在時間の把握が可能です。

